体系番号 0401010201 施策等名称 多様な森林整備及び環境保全の推進 主管課 農林課

1 施策基本情報 将来に渡り、持続可能な森林を形成していくには、未整備森林の間伐等による整備は不可欠です。 しかし、近年では森林所有者の高齢化や不在村所有者の増加また、長引く木材需要の低迷により間伐等の手入れがなされず放置された森林が増加している。 このような状況から、貴重な財産となる森林を今後も継続して維持するには、森林に対する住民の意識向上を目的とし 現状と課題 た「見える森林整備」の推進が必要と考える。 最初は、生活に身近な里山をステージに、下草や藪払いなどの作業に住民が自ら携わり、景観や環境の向上が図られ ることで、これまで山に対し関心の少なかった住民にも森林に目を向けるようになる。 めざす将来像 森林の持つ多面的機能を住民誰もが理解したうえで、整備に取り組む。 (あるべき姿、基本的 な考え方) 2022年度目標値 2027年度目標値 指標名称 指標の説明(単位) 計画策定時 森林整備、環境整備の地域への説明 主に森林整備推進のための地域への説明会(年間3回) 1 年2回 15.00 環境整備については、随時役員に説明する。 策 林業振興ビジョンにおいて、搬出間伐100ha、切捨て間伐 650ha 森林整備で 指 2 整備実施面積 20ha、環境整備10haを実施目標としている。 年間70ha 650.00 3 多様な森林整備及び環境保全の推進 主管課 農林課 称 細 2022年度目標値 2027年度目標値 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 計画策定時 柱を構成する主要事務事業 区分 主に森林整備推進のための地域 森林整備、環境整備 1 の地域への説明会実 1 森林整備事業 実施 15回 への説明会(年間3回) 環境整備については、随時役員 年2回 の 2 15.00 柱 こ説明する。 林業振興ビジョンにおいて、搬出 650ha 3 間伐100ha、切捨て間伐20ha、環 境整備10haを実施目標としてい 森林整備で 2 整備実施面積 年間70ha 4 650.00 5 3 6 基本政策間連携 主管課 称 詳 2022年度目標値 2027年度目標値 策 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 柱を構成する主要事務事業 区分 計画策定時 の 施策 体 の 2 柱 3 2 4 5 3 6 基本政策間連携 主管課 称 細 2022年度目標値 柱を構成する主要事務事業 まちづくりの目標指標 指標の説明(単位) 計画策定時 区分 策 の 2 柱 3 2 4 5 3 6 基本政策間連携

施策等名称	多様な森林整備及び環境保全の推進	体系番号	0401010201
爬束守石桥	対球な林仲軍開及び保佐体主以社医	主管課	農林課

2 指標等の推移と変動要因

		推移と変動要因	-1								
	本系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
-	指標No.		中間目標値		1	植 / 達成率	1	1			
	施策	森林整備、環境整備の地域への説明会実	累計15回(年間3件)	0.00	3.00	3.00	3.00	5.00	2.00		
	1 2018年度	施件数 今年度は新規事業の修景林間整備を軌道に 明会は行えていない。	3.00 に乗せることに重点	0.00 (を置いたため	100.00 、広範囲に渡る	100.00 6間伐等の整備	100.00 oための新規	166.67 に同意集約が	66.67 必要な住民説		
	2019年度										
変動	2020年度	里山整備に向けた説明会(中村区)、里山整備利用地域(小泉山体験の森・ピーナスライン沿線)説明会2回を実施。									
要因等	2021年度	財産区役員に向け補助事業の説明、森林経営管理制度(安国寺、埴原田)説明会の実施。									
4	2022年度	森林経営管理制度地元説明会(埴原田、上・	・下槻木、中道、小	泉)の実施。							
	2023年度	森林経営管理制度地元説明会(上原地区2	回)の実施。								
	施策	整備実施面積	累計650ha (年間130ha)	103.00	80.11	47.98	22.85	52.26	39.88		
	2 2018年度	昨年集約手続きを行った個人有林の里山整	130.00 備の実施面積がJ	79.23 広範囲であった	61.62 :ことや、森林の	36.91 環境整備とな	17.58 る修景林間整(40.20 前の実施により	30.68 整備面積が		
		増の結果となった。 昨年集約手続きを行った財産区林・個人有材	本の森林整備や、	森林の環境整備	備となる 修 景材	*間整備の実施	。搬出21.67ha	、切捨て53.59	na、修景4.85		
変	2019年度	ha 集約手続きを行った財産区林・個人有林の系	森林整備や、森林	の環境整備とな	る修景林間整	備の実施。搬	出21.54ha、切	含で22.91ha、	多景1.73ha、		
動要因	2020年度	特殊伐採等354本 集約手続きを行った財産区林・個人有林の系			る修景林間整	発備の実施。搬	出3.29ha、切指	て10.58ha、 修	景4.39ha、特		
等	2021年度	殊伐採等89本(0.4ha)、茅野市森林経営管理事業森林整備4.19ha(安国寺) 集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出21.51ha、切捨て26.948ha、修景4.5ha、									
	2023年度	特殊伐採等265本(01.3ha) 集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出9.46ha、切捨て24.47ha、修景1.1ha、特 殊伐採等10本(ライフライン)、茅野市森林経営管理事業森林整備4.85ha(中道、小泉山西)									
	柱1	森林整備、環境整備の地域への説明会実	累計15回(年間3件)	0.00	3.00	3.00	3.00	5.00	2.00		
	1	施件数	3.00	0.00	100.00	100.00	100.00	166.67	66.67		
	2018年度	今年度は新規事業の修養林間整備を軌道に乗せることに重点を置いたため、広範囲に渡る間伐等の整備のための新規に同意集約が必要な住民説 明会は行えていない。									
変	2019年度	里山整備に向けた説明会(槻木区)、里山整備利用地域(小泉山体験の森)説明会2回を実施。									
動要	2020年度	里山整備に向けた説明会(中村区)、里山整備利用地域(小泉山体験の森・ピーナスライン沿線)説明会2回を実施。									
田等	2021年度	財産区役員に向け補助事業の説明、森林経	営管理制度(安国	寺、埴原田)割	胡会の実施。						
	2022年度	森林経営管理制度地元説明会(埴原田、上・下槻木、中道、小泉)の実施。									
2023年度 森林経営管理制度地元説明会(上原地区2回)の実施。											
	柱1 2	整備実施面積	累計650ha (年間130ha)	103.00	80.11	47.98	22.85	52.26	39.88		
	2 2018年度	昨年集約手続きを行った個人有林の里山整	130.00 備の実施面積がJ	79.23 広範囲であ った	61.62 :ことや、森林の	36.91 フ環境整備とな	17.58 る修景林間整(40.20 横の実施 により	30.68 <mark>整備面積が</mark>		
	2019年度	増の結果となった。 昨年集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出21.67ha、切捨て53.59ha、修景4.85									
変動	2020年度	ha 集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出21.54ha、切捨て22.91ha、修景1.73ha、									
要因	2021年度	特殊伐採等354本 集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出3.29ha、切捨て10.58ha、修景4.39ha、特 殊伐採等89本(0.4ha)、茅野市森林経営管理事業森林整備4.19ha(安国寺)									
等	2022年度	本次は1903年(U.Hia)、デジリは株代社会自任主学末株代金領4、1814(文画47) 集約手続きを行った財産区林・個人有林の森林整備や、森林の環境整備となる修景林間整備の実施。搬出21.51ha、切捨て26.948ha、修景4.5ha、 特殊伐採等285本(01.3ha)									
	2023年度	特殊以保等200年(01.3mg) 集約手続きを行った財産区林・個人有林の系 殊伐採等10本(ライフライン)、茅野市森林紹	株林整備や、森林	の環境整備とな	る修景林間竪	横の実施。搬	出9.46ha、切推	て24.47ha、 修	景1.1ha、特		

施策等名称 多様な森林整備及び環境保全の推進 体系番号 0401010201 農林課

3 評価・改革改善(単位:円)

1	第3期森林、東東の最用 第3期森林、福助を活現 本と、関山森林、東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	できた。森林環境譲与 税を活用した、森林経・ 管理制度事業を進め開 を実施しながら森林整備に繋げていく取組が 行えた。 森林整備の未整備個所類 森林整備の未整備個所類 強額与税を活用し、森林明 備を進めることで、森林所 有者へ制度を理解してい だき、個体力というだき、の 事業に協力していただの 事業に協力していただの
1.30 1.30	7,386,000 0.76 おおむね順調 (R4・総括・電子・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・製造・	9,189,766 1.24 おおむね順間 森林税事業の補助を補 所し、調査を持ち、政・等域を できた。森林環森体めの に変が、野球に 管理制となるの森林が 管理制にした。森林環森体めの を実施した、政制が 行えた。 森林整備の未整備 に繋げていく取組が 行えた。 森林整備の未整備 の未整備を要解していたで、 森林等は 関を選挙があるため。 東本体を 領を選挙が にきくあるため。 東本体を 領を選挙が 有者へ制度を理解していただ、 関本のないただ。 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 東本体を 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 関本のないただ、 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二のは 第二の。 第二の 第二の 第二の 第二の
(2018年 ~ 2023年 上 10%	おおむね順調 (R4・総無本が、 第3期森が、 第3期森が、 を し、里、中、東、中、東、中、東、中、東、中、東、中、東、中、東、中、東、中、東、中	おおむね順調 森林税事業の補助を清用し、間負役や里神」整備 (減炎・防炎・研究・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・病療・
(一般	(R4・総括評価事業の最 第3期森林税事業の最 終年となり、補助本代を の里山森林森林森体 を 記し、した。 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では	森林税事業の補助を清 用し、間伐や単山整備 (減災・防災)等が実施 できた。森林環境を活用した、森林保 管理制度事業を必る。 為、地元説明ら森林起が 行えた。 森林整備の未整備 に繋げていく取組が 行えた。 森林整備の未整備 調整・現を活用し、森林所 有者へ制度を理解してい だき、個人有林を集約する 事業に個名力していただ頃
# 類果事業となる森林の環境保全を目的とした場合が、要望箇所が少なに、協議会を設立しまりに、協議会を設立しまりに、場合を設立しまりに、場合を設立しまりに、もる程度を設立しまります。	(R4・総括評価事業の最 第3期森林税事業の最 終年となり、補助本代を の里山森林森林森体 を 記し、した。 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では 一部では	森林税事業の補助を清 用し、間伐や単山整備 (減災・防災)等が実施 できた。森林環境を活用した、森林保 管理制度事業を必る。 為、地元説明ら森林起が 行えた。 森林整備の未整備 に繋げていく取組が 行えた。 森林整備の未整備 調整・現を活用し、森林所 有者へ制度を理解してい だき、個人有林を集約する 事業に個名力していただ頃
理域保全を目的とした体 最大間整備が地域の理 類と協力のもと、ある程 度軌道に乗ったと考え。 る。 作年度地元説明会を 行った範囲が広範囲で あったことから、整備面 複の増が見込めた。 特別の重要性のPRが必要 の関心に地域で温度差があったが、昨年度 かなにのための作業を 行った範囲が広範囲で あったことから、整備面 複の増が見込めた。 もしなっていくと考えら もったことから、整備面所が増え ることで市内の森林景観 ものである。 整備の重要性のPRが必要となっていくと考えら の関心に地域で温度差が減少したが、団体の がある。整備の重要性のPRが必要となっている個人の表を機構ので発達機の要望量が減少したが、団体の がある。整備の重要性のPRが必要となっている個人の表を発性のでは、表体経営管理の表を が減少したが、団体の 代表者が新したなり、制度の思知 度を知らなかったことが 表表に、森林経営管理制度の を変態に多な多な。 を変し、森林経営管理制度の手法を利用し、森林経営管理 を変態に多なる。 を変し、森林経営管理制度の手法を利用し、森林経営管理制度の を変態に多なる。 を変し、森林経営管理制度の手法を利用し、森林経営管理制度の を変態に多数を表は、森林経営管理制度の を変態に多数を表は、森林経営管理制度の を変態に素体を発しるよう。 説明会等を実施してい ・定制度の周知が必要となる。 を実施しる、表体整備への 住民理解を得られるよう、説明会等を実施してい ・にも贈金の非主体と がなり、間ができた。計画を を実施しる。表体整備への 住民理解を得られるよう、説明会等を実施してい を変態に表体経営管理制度の を実施しる。 を実施しる。 を実施の表体環境関を行ることで更なる。 活用した。森林経営管理制度 となる。 を実施することで更なる。 本の所有者に対し整備 の推進を使す。 なる。 2向間重を計画的に実 施との要となる。 2向間重を計画的に実 施し森林整備を推進する。 2を施することで更なる。 本機能の整備を を実施することで更なる。 本機能を発見する。 変施することで更なる。 本機能を必要が 本機能を発見なっている個人、有体の整備 を実施することで更なる。 本機能を発見なっている個人、有体の整備 を実施することで更なる。 本機能を発見なっている個人、有体の整備 を実施することで更なる。 本機能を発達する。 2向間重を計画的に実 施し森林整備へ繋げて いく。	第3期森林、東東の最用 第3期森林、福助を活現 本と、関山森林、東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	用し、間伐や里山整備 (減災・防災)等が実施 で表さた。森林を を表される。 一般を活用した、森雄を 一個では、 一個では、 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を
「関いに地域で温度差がある。	森林整備の未整備個所がまだ多くあるため、森林環境膜与税を活用し、森林整備を行い、森林 市有者へ制度が周知で さるよに森林整備を進めていくとともに、喫緊 の課題となっている主要	まだ多くあるため、森林環境腫与税を活用し、森林環備を進めることで、森林所有者へ制度を理解していただき、個人有林を集約する。 事業に協力していただく耳
団体有林また、個人有林の整備が必要な森林の抽出作業の実施。 その所有者に対し整備の推進を促す。 改善・ 改善内容 団体有林また、個人有林の整備を推進する。 活用し、未整備となっている個人有林の整備を実施することで更なる森林整備を推進する。 意向調査を計画的に実施し森林整備へ繋げていく。	応等も必要となってい る。	組が必要となる。主要道路 河川沿いの支障木の対応 が必要な箇所についても、
東占化する	り(第4期)引き続き補助った活用し森林整備を進める。森林環境腺与税を活用した森林経営管理制度に取組み、未整備となっ	める。 森林環境議与税を活用し 森林経営管理制度に取組 み、未整備となっている優 人有林の整備(主要道路) 河川沿いなど地域の課題 決)を実施することで更な 森林整備を推進する。 間査を計画的に実施し森 整備へ繋ぐとともに、更新
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	1
	1	1
第 積極的な整備の推進を 今後も継続して事業を 今後も継続して事業を	なる意識の向上と森林	今後も継続して事業を 実施していき、市民に 業箇所を見ていただく とや、制度の広報を行 ていくことで更なる意識
作成切出者 鎌倉 喜 藤森 雜 藤森 雜 藤森 雜		の向上と森林整備の仏進を図る。

作成担当者	鎌倉 亮	藤森 龍	藤森 龍	藤森 龍	藤森 龍	藤森 龍
最終評価責任者	五味 正忠	五味 正忠	五味 正忠	柳沢 正広	柳沢 正弘	両角 敏行
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月27日	2023年10月19日	2024年7月12日